意見広告

データバンク株式会社
福岡県福岡市中央区天神4-1-17
代表 森田　寛之
092-235-2470

未成年者の接種は慎重に

未成年者のワクチン接種が進んでいる中、テレビやインターネットでは未だに様々な情報が飛び交い、一体何が正しい情報なのか判断しにくい状況が続いていて、不安になる人も多いのでは。ここでは**厚生労働省がホームページで公開している情報**を基に、ワクチンの安全性について考えてみよう。

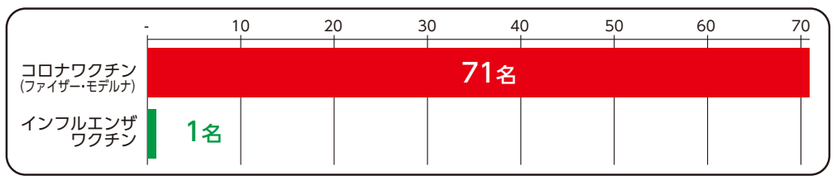
厚労省ホームページから「未成年接種」について考える

ワクチン接種と1300人超の死亡は本当に関係ない？

コロナワクチン接種後の死亡者の中で、医者がワクチンの影響を疑って厚労省に報告した事例が、11月5日時点で**1359人**に達している。また、若年層の接種人数は少ないにも関わらず20代が19名、10代が4名、接種後に死亡している。10月30日には、13歳の少年がファイザーのワクチンを接種した4時間後に入浴、浴槽内で水没しているところを発見されている。しかし厚労省は未だに一人として**因果関係**を認めていない。つまり、厚労省のホームページに明記されている通り「接種が原因で多くの方が亡くなったということはありません。」という見解だ。そうだとすると、死亡した人たちはワクチンと関係なく、その時たまたま何かの病気で亡くなったことになる。

しかし、それではなぜコロナワクチン接種後にはたまたま大勢の人が死亡するのに、インフルエンザワクチンでは、それが少ないのだろう？（図①）その理由は**「たまたまの死亡」**ではないからと考えるのが普通ではないだろうか。そう考えると、コロナワクチンの接種そのものが原因で多くの人が死亡した可能性も考えざるを得なくなる。

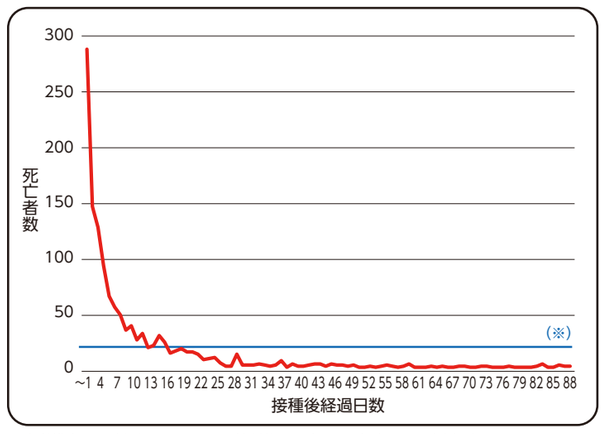
図①　ワクチンの接種後死亡者数（1000万回接種した場合）



※厚生労働省HP：令和元年シーズンのインフルエンザワクチン接種後の副反応疑いの報告について
（接種回数：56,496,152回、死亡6名）
新型コロナワクチンにおける副反応疑い報告の状況について
（ファイザー・モデルナ推定接種回数：186,087,214回、死者1,325名/10月24日時点）

そして、この可能性は、ワクチン接種後の死亡者を**「接種後、何日目に死亡したか」**で分類することで、さらに現実味を帯びてくる（図②）。もし本当に死亡した人達がワクチンと関係なく、たまたまその日に何かの病気で死亡したのであれば、日毎の偏りはさほど大きくないはずで、**青線（※）**のように、ある程度ならされた分布になることが予想される。

図②　ワクチン接種後、何日目に死亡したか



厚生労働省HP　新型コロナワクチン接種後の死亡として報告された事例の概要
（令和3年11月12日）より作成
接種当日（0日）の死亡者数は、接種後の経過時間が短いため1日に含めて集計

図③　10代・20代のワクチン接種後の死亡者（23名）

年齢	性別
13歳	男
15歳	男
16歳	男
16歳	男
21歳	男
22歳	男
22歳	男
23歳	女
23歳	男
24歳	男
25歳	男
25歳	女
26歳	女
26歳	男
26歳	男
27歳	男
27歳	女
27歳	男
28歳	男
28歳	女
28歳	男
28歳	男
29歳	男

※図②データより抜粋

しかし実際には接種した翌日までに死亡した人が圧倒的に多く、**赤線**のような極端な分布になる。この統計は**ワクチン接種と死亡との因果関係**を示唆しているのではないだろうか。もちろん個々の因果関係は分からないが、死亡者の死因も千差万別ではなく、**血栓症**（血の塊が血管を塞ぐ病気）や**循環器系**（心臓と、全身に血液を循環させる血管ネットワーク）障害が圧倒的に多い。この偏った分布と死因を見る限り、ワクチンにはまだ明らかにされていない何らかの**有害性**があり、それが原因でこれまでに基礎疾患のない健康な若者も含め、多くの人が死亡した可能性は決して否定できないだろう。

ワクチン接種には**健康被害救済制度**があり、死亡した場合には**4千万円**を超える補償が受けられる。しかし、ワクチン接種直後に**突然死**した場合も含めて、一人として因果関係が認められていないため、救済を受けた遺族は一人もいない。すでに全国の医師390人が連名でワクチン接種中止を求める嘆願書を厚生労働省に提出しているが、今後も死亡や健康被害が増え続ければ、大規模な薬害事件に発展する可能性もある。これらの推測が誤りであり、これから接種を受ける人に何事も起こらないことを祈るばかりだ。

POINT!

厚労省HPに掲載されている
コロナワクチン3つの事実

①インフルエンザワクチンと比べて、**接種後死亡**が多い。

②接種した**翌日までに死亡した人**が多い。

③接種後死亡者の死因は、**血栓症や循環器系障害**が大半を占める。

副反応の調査・情報公開の徹底を

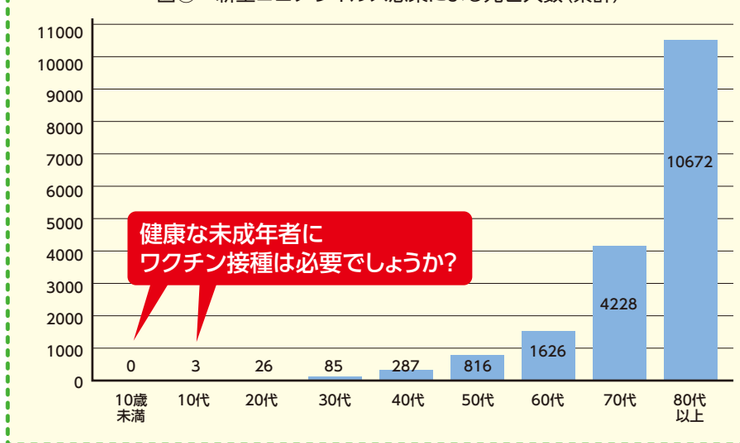
厚労省はホームページに「ワクチンが不正出血や月経不順を起こすことはありません。」と明記しているが、イギリスでは生理関連の副反応を訴える報告が3万件以上に上っている。アメリカでも同様の事例が多発しているため、米国立衛生研究所（NIH）が9月末から調査を始めた。生理不順や無月経、生理痛の増加、生理量の変化などの症状だけでなく、閉経したが生理が再開したという副反応まで報告されていて、日本国内においても不正出血や月経不順を訴える例が増えてきている。また、先月には**ファイザーワクチンを接種した女性の4割**に、わきの下のリンパ節が腫れる副反応が2か月続いていたとする調査結果も出ている。

ワクチン接種に関しては、この他にも接種後の死亡が多かったり、血栓症や心筋炎の症例が多かったり、3回目のワクチン接種が必要になったりと、厚労省も製薬会社も想定していなかったことが、数か月の間にいくつも起こっている。その理由は、今回のワクチンが人体に用いるのが初めてであり、有効性も安全性も2023年5月まで（ファイザー）不明の**「臨床試験中の実験試薬」**だからだ。それは**人体への長期的な影響が誰にも予見できないこと**を意味する。厚労省は「審議結果報告書」の中で「接種後長期の十分な安全性データが得られていないことには留意が必要である。」と記載しているが、厚労省も今後数年に渡って何が起こるか分からないまま接種を推し進めているのが現状だ。

ワクチンが生殖機能に及ぼす影響についても、厚労省ホームページには**「不妊にならない」**との記載は一言もなく、ただ「現時点において、ワクチン接種が不妊の原因になるという科学的な根拠は報告されていません。」と書いてあるだけだ。ワクチン接種は始まったばかりのため、今後根拠が報告される可能性はゼロではない。ファイザー社が厚労省に提出している「薬物動態試験の概要文」には、ワクチンの成分が確実に**卵巣**にも集まる動物実験のデータが記載してあるが、数年後に何らかの異変や有害事象が起きる可能性も完全に否定できるものではない。**「臨床試験中の実験試薬」**とは、そういうものだ。

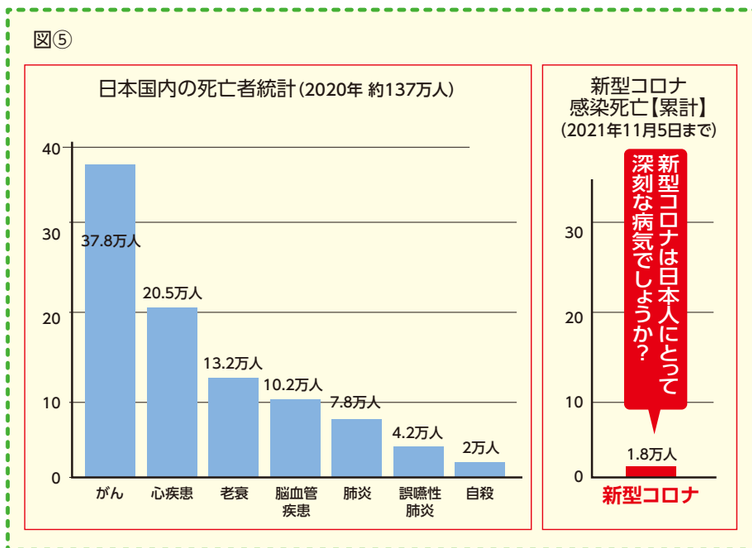
とは言え「子どもも重症化させる」と言われてきたコロナウイルスの**変異株**を心配する声もよく聞く。しかし、厚労省のグラフ（図④）の通り、コロナに感染して死亡した10代は3人であり、その内の2人は**重度の基礎疾患**があったことが分かっている。そしてもう一人の死因は、東京都の発表によると、コロナ感染ではなく事故によるもので、死後のPCR検査で陽性反応が出たために「コロナ感染死」にカウントされたものだ。つまり、これまでにコロナに感染して死亡した**健康な未成年者（0歳～20歳未満）**は未だに一人もいないし、重症化もほとんどしていない。それなのに今後もワクチン接種後の健康被害ばかりが増え続けてしまうと本末転倒な話になってしまう。すでに10・20代のワクチン接種後の副反応疑い報告は**6198人**を超えていて、重篤者は**821人**、死亡者は**23人**だ。**大阪府の泉大津市（南出市長）**は、当初からこのような事態を懸念していたため、若年層の接種に慎重な姿勢を示してきたが、今後はこのような自治体も増えてくるかもしれない。

図④　新型コロナウイルス感染による死亡人数（累計）



※新型コロナウイルス感染症の国内発生動向（令和3年11月9日24時時点）

図⑤



※厚労省HP：死因簡単分類別にみた性別死亡数より作成

最後に想像してほしい。もしあなたの子どもや孫がワクチン接種後に突然亡くなったり重大な健康被害に遭ったり後遺症が残ったりしたら、ワクチンが原因ではないかと疑ってしまうのではないだろうか？また**「因果関係なし・不明」**という発表に納得できるだろうか？そして子どもに接種を勧めたことを後悔し続けるのではないだろうか？そのような悲しくてやりきれない思いをしている親御さんが実際に何人もいるが、これは決して他人ごとではない。

現在、ワクチン接種はいわゆる「国策」となっているため、厚労省のホームページを始めテレビやインターネットのニュース情報でも基本的に**接種のメリットや安全性**が強調され、ここに掲載しているような危険性はほとんどの人に届いていない。副反応の調査と情報公開の徹底が望まれる。また様々な情報に触れ、メリットだけでなくリスクも正しく知った上で判断することが大切だ。

（令和3年11月12日時点）

※この紙面の内容は主に、厚労省ホームページに掲載されている情報と、
新聞各社で報道された情報を基にしています。
情報の詳細はホームページをご覧ください。（https://jcovid.net/ 又は、下記QRコードより）

メールまたは下記QRコードよりご意見をお寄せください

・本広告に対するご意見・ご感想をお聞かせください。
・ワクチン被害をなくすためにご自身やお知り合いの方がワクチン接種後に亡くなったり重大な健康被害に遭った場合には、因果関係が不明だとしても、その情報をお寄せいただければ幸いです。

データバンク株式会社
福岡県福岡市中央区天神4-1-17
代表 森田　寛之
092-235-2470
Eメール　mail@dbank.jp

皆様からのご支援で活動しております。